

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	コミュニティ活動の推進			総合計画コード	431
部名	市民環境部	主管課名	地域づくり支援課	主管課部課コード	020400
関連部課名	市民環境部(コミュニティセンター)				

1. 施策概要

めざす目的成果	市民が相互に連携し、主体的にまちづくりに参加して、地域住民のコミュニティ活動が活発に行われている。					
施策概要	自治会・町内会へ運営費の補助を行う。 自治会町内会へ集会所建設費又は修繕費を補助する。 自治会連合会事務局の運営を行う。					
個別計画 関連計画	計画名称		計画期間	H	年度 ~ H	年度
				H	年度 ~ H	年度
				H	年度 ~ H	年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等運営費補助金の交付:71自治会・町内会及び自治会連合会に12,865千円を交付 自治会等集会所建設事業補助金の交付:3自治会・町内会に963千円を交付 自治会連合会事務局の運営 					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	自治会・町内会による防犯パトロールや防災訓練などが実施された。				
	子育てがしやすいまち	自治会・町内会による子供向けのイベントの開催や小中学校登下校時の見守り活動が実施された。				
	つながりのある元気なまち	地域コミュニティの要である自治会・町内会に対し、運営費や集会所建設事業補助金を交付するとともに、自治会連合会事務局を運営し、自治会・町内会の抱える課題についての取り組みを開始した。				
	自然・環境に恵まれたまち	自治会・町内会による環境美化活動が実施された。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		26,554	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 自治会・町内会加入率	%	47.4	47.6	47.8	48.0	48.1
(説明) 市内の世帯数に対する各自治会・町内会への加入率		44.5	—	—	—	—
②						
(説明)			—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input checked="" type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) 自治会加入率は年々減少し、役員の高齢化、担い手不足などの課題解決のために対策が必要である。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 人口の流出入による地域意識の希薄化や市民の価値観の多様化などにより、地域での人と人との結びつきが弱くなっている。しかしながら、地域課題の解決のために、今後も地域コミュニティの活性化は重要である。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 地域意識の希薄化や市民の価値観の多様化、自治会・町内会が抱える課題など、様々な要因により自治会加入率の低下が進んでいる。朝霞市自治会連合会でもその課題解決に向けて検討する場を設けたが、その動向を注視するとともに、関係機関との連携を密にし、自治会・町内会の負担軽減や活動しやすい環境作りを進めることが重要である。

4. 今後の展開方針[部としての判断]

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
	(説明) 地域コミュニティの要である自治会・町内会に対し、効果的な助成を行うとともに、自治会・町内会のあり方、関係機関との連携などについて、自治会・町内会の負担軽減などの課題とあわせて検討・改善することが重要課題である。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大					
	(説明) 地域課題・行政課題の解決につながるよう、自治会・町内会それぞれの自主性を尊重しながら行政として支援に努める。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 自治振興事業	23,623	26,554	5	5	拡大
	2 コミュニティ推進事業	53,291	44,329	5	5	拡大
	3					
	4					
	5					
	計 (単位:千円)	76,914	70,883	—	—	—
	<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【外部評価委員会】・自治会・町内会への加入率が年々減少しているが、加入を促進するためには、これまでのような受け身ではなく、現代のライフスタイルに合った新しい仕組みが必要である。他市等の成功事例を研究し、行政から働きかけていこう新しい取組を検討してほしい。(つながりのある元気なまちに関する所見より抜粋) 【まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会】・加入率アップのために自治会連合会との連携を図るだけでは不十分ではないか。特にマンション等集合住宅居住世帯は加入を敬遠する傾向にあることが課題である。					
部長の意見	自治会・町内会の加入率の低下が課題となっている中、地域自治組織の活動に対する支援は、市内コミュニティの活性化、地域意識の向上に直結する事業であるため、今後とも市民と協働し、積極的に推進していく。					